指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡県馬術競技場

２　指 定 管 理 者 名：　福岡県馬術連盟

３　指　定　期　間：　令和４年４月１日～令和９年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	○県、地元古賀市及び関係団体と連携し、県内の馬術の中核施設として、県民に対する施設提供や各種大会の開催等を行うなど、馬術競技の普及振興と競技力向上を目指した管理運営を行う。 ○県、地元古賀市と定期的に運営協議会を開催するとともに、地域のイベント等に積極的に協力する。 ○県と共同によりホースセラピー事業を実施する等、馬を効果的に活用した県民に貢献できる事業を積極的に推進する。	・第68回福岡県民スポーツ大会兼第64回福岡県馬術選手権大会を実施するとともに、一般県民の乗馬の機会を提供するなど、本県の馬術競技の普及振興及び競技力向上が図られた。 ・馬術競技力向上のために選手育成や指導者講習会を行うなど、乗馬を通したスポーツ活動の場を提供した。 ・古賀市や古賀市教育委員会と協力してワンヘルス講座やえさやり等の体験を開催し、馬との触れ合いを通して親子で一緒に遊ぶ機会や体験活動を提供した。 ・乗馬に対する相談等に適切に対応している。 ・障がいのある子どもたちの社会適応能力向上を目的とした馬との触れ合い事業を展開した。 （令和７年度参加者　延べ198名） ・高齢者や障がいのある方が安心して乗馬できるように、乗馬台を準備したり、サポート人数を強化して行っている。
②施設利用及びサービス向上	○馬術大会の効率的な運営や県民が安心して楽しく利用できる施設提供業務に努める。 ○県民の馬術に対するニーズに応じて、トップ選手育成から乗馬愛好家の育成、乗馬を通じた健康保持増進などに貢献できるよう、利用しやすい施設提供を目指す。 ○県馬術場ホームページをより効果的に活用できるよう努めるとともにリーフレット等の配布やマスコミ等への積極的情報提供を行うなど、広報活動に努める。	・令和７年度利用者数　9,809人 （対前年度比　　111.1%　令和６年度8,832名） （対令和元年度比140.8%　令和元年度6,965名） ・全国や九州規模の馬術大会等を積極的に開催したほか、全国展開事業の講習会や馬術連盟主催事業の定期的な開催を行う等、馬術場の利用促進を図った。 ・指導者及びジュニア育成の講習会、研修会等を計画的に開催し、競技人口拡大と利用促進に努めた。 ・若年選手層の育成を図るため、高等学校乗馬部の活動を支援した。 （令和７年度部活動者数　延べ842名） ・利用団体との事前調整を行うことで、大会開催時に適切な職員体制をとり、利用者の利便性を図った。
③経営（収支）改善	○利用者への良質なサービス提供を維持しながら、節電、節水等、光熱水費の削減に努める。 ○利用者増による利用料金収入の安定的確保とともに管理経費節減に努める。	・利用料金収入：目標額2,700千円　実績額4,795千円 （対前年度比　　103.3%　令和６年度4,642千円） （対令和元年度比163.3%　令和元年度2,936千円） ・指定管理料：22,557千円（対前年度比103.4%　令和６年度21,810千円） ・馬術大会、指導者講習会開催の促進、馬術大会以外の施設利用促進に努めた。 ・嘱託職員等の活用により、人件費抑制を図った。 （嘱託員：１名、臨時職員１名配置　　非常勤等の割合100%） ・きめ細かな管理運営や井戸水の活用等により光熱水費等のコスト削減に努めたが、前年度より利用者数が増加したことにより電気・水道使用量が増加している。なお、定期的に水道メーターを点検するなど漏水防止に努めた。 （電気使用量　対前年度比122.7%、水道使用量　対前年度比104.3%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
④職員確保方策及び健全な財政基盤	○適切な管理運営を行うために、場長と臨時職員を雇用する。	・指定管理運営の場長：１名（常勤嘱託）、臨時職員：１名 ・県馬術連盟事務局職員、厩務員との連携により効率的な利用者サービスが図られた。
⑤施設管理上の個別事項	○利用者に対し、安全なスポーツ活動等の実施を適切に指導できる体制を整備するとともに、事故発生時に適切に対応できる救急体制を整備する。 ○馬術に関する専門家を中心に、乗馬時の安全サポート体制を整備する。 ○研修等を通じて職員の法令遵守の意識向上を図る。	・利用者に対し、安全なスポーツ活動等の実施を適切に指導できる体制を整備するとともに、災害や事故発生時に適切に対応できる救急体制を整備している。 ・施設の防火管理や電気保安業務等について専門業者に委託することにより、法定点検を確実に実施し、施設設備の安全管理を行っている。また、馬がいることから夜間警備員を配置している。 ・人権同和研修、情報公開・個人情報保護等の職員研修を実施し法令遵守の意識向上を図った。

②点検結果

□ A＋ （提案内容を上回った） ○ A （提案内容をやや上回った） □ B （概ね提案内容どおり） □ C （提案内容をやや下回った） □ D （提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・九州規模の馬術大会や全国展開事業の講習会及び馬術連盟主催事業を開催するなど、利用者数及び利用料金収入の増加に努めている。今後も継続して大会誘致に積極的に取り組むと同時に、日常的に馬術競技場が練習場所として活用されるよう、関係団体等への広報や馬術競技人口増加に向けた選手育成に努めることが望まれる。 ・新規に全国規模の全日本学生馬術選手権大会や、国際イベントとして日韓学生馬術交流大会を開催することができた。